

茨南だより

3 S

察知
誠意

+ 1

スピード感
改革意欲

NO. 8

2023. 12. 1

すべての児童生徒の可能性を引き出す活力ある学校づくりに向けて

～その7

県南教育事務所長
宮本 浩貴

11月25日(土)土浦合同庁舎を会場に「中学生のための教職セミナー」を実施しました。4年ぶりに参集型で開催したところ、県内各地から教職に興味・関心のある中学生32名の参加がありました。

セミナーでは、協力者として県南の小中学校、県立高等学校、県立特別支援学校の教諭、養護教諭8名が参加し、グループトークを行いました。

1回目のグループトークでは、若い先生方に教員の魅力ややりがいについて語っていただきました。「子供たちの成長のために役立っていると実感できた時、先生になってよかったと思う。」「1日たりとて同じ日はなく、子供と一緒に自身も成長していることが実感できる。」など、タブレットを使ったプレゼン資料や日頃授業で使っている教具等を用意し、それらを用いながら一生懸命に語り掛ける若い先生方の姿。そして、その言葉を真剣に聞き入っている中学生の姿はとても感動的でした。

2回目、3回目とグループトークが続く中で、生徒と若い先生方との距離も近くなり、打ち解けた雰囲気の中で、「教職を目指そうと思ったきっかけ」や「将来の夢」、「将来に向けて頑張ること」などが話題となりました。

リフレクションでは、「高校や特別支援学校の先生から話が聞けたことで、教職(教育)への興味が一段と高まった。」「教師という仕事は美しい。教師になりたいという自分の気持ちが確認できた。」「教師になるために、いろいろな人と関わったり、いろいろなことを経験したりしながら、コミュニケーション力を高め、人の気持ちに寄り添えるようになりたい。」と目を輝かせながら語る中学生の姿に、心が洗われました。

協力していただいた先生方からも、「教師は子供の成長に貢献できる唯一無二の仕事」「学生時代にうまくできなかったこと、そういった経験が教師になった時に生きてくる。」「授業がうまくいかなくても、同僚や管理職の先生に支えてもらいながら、乗り越えられる。」「一人一人の特性を生かした関わりや支援が役立ち、子供ができるようになった時の喜びは大きい。笑顔を見せてくれるのがとても嬉しい。」といった言葉がありました。現職の若い先生方が熱心に思いを伝えてくれたおかげで、中学生は教職の魅力をも十分に感じ取ることができたに違いありません。

参加した多くの生徒が、「とても優しく見守ってくれる先生や丁寧に分かりやすく教えてくれる先生が大好きで、その先生のようになりたいと思って参加しました。」と身近な教師への憧れを語っていました。教師という職業は、「存在そのものが教育であり、日常のかかわりすべてが、未来の先生を育てることにつながっている。」ということを再認識することができました。中学生の皆さん、協力して下さった先生方、素敵なひとときをありがとうございました。



総務課

期末勤勉手当について

12月期の期末勤勉手当が12月8日に支給されます。職員であった期間や休暇取得、勤務成績等により支給額が変わりますので、不明な点は事務職員に確認をお願いします。また、今年から年末調整における調整が、12月期末勤勉手当ではなく12月給与(12月21日支給)で反映されることとなりますので、ご確認ください。

人事課

★信頼され 笑顔あふれる学校づくりのために★

◆令和6年度定期人事異動◆

10月31日(火)県南市町村立学校長会議において、令和6年度の定期人事異動説明会を行いました。各校におかれましては方針や事務取扱要領等の周知がなされ、人事面談・事務が行われているところと思います。今後は、正確な書類作成へのご協力をお願いいたします。

◆定年年齢の引き上げ◆

令和5年度から定年年齢が段階的に引き上げられることとなります。今年度60歳を迎える教職員の皆様には、令和6年度においても教諭等として、これまで培ってきた豊かな経験等を学校現場で生かしていただけるとありがたいです。

令和6年度に再任用を希望される場合は、定年前再任用短時間勤務制による任用となり、短時間の勤務形態のみとなります。

◆令和5年度優秀教職員の表彰状伝達式◆

11月28日(火)に県南教育事務所、優秀教職員の先生方4名の表彰状伝達式を行いました。みなさんおめでとうございます。

田口 はるみ係長【龍・長山小】
井上 宏実 教諭【つ・東小】
寺田 陽子 教諭【守・大野小】
三村 真木子教諭【か・千代田義務】



特別支援教育への理解を深めるとともに指導力の一層の向上を図ることを目的に「初任者研修講座特別支援学校体験研修講座」を土浦、美浦、伊奈、つくば特別支援学校で実施しました。体験研修を通して、一人一人のニーズに応じた個別最適な教育実践の様子を目の当たりにし、「教育の原点」を感じることができたことと思います。

これらの貴重な体験を通して、子供の多様性を理解し、一人一人に寄り添った「指導力のある教師」として着実に成長してくれることを願います。



阿見町教育委員会

【課題・困り感】～授業づくりカフェ～

- 魅力ある授業づくりには教師の資質向上が不可欠
- 研修時間が十分に取れない
- 研修の機会の少ない講師にも研修の機会がほしい、等

【工夫・コンセプト】

- 夕方 17:15～18:45 に自主研修会として実施
- 「日本一! 垣根の低い自主研修会」
- 誰でも参加 OK、教師も協働的な学び
- 飛び入り・急な欠席、遅刻早退 OK

【各回のカフェの様子】

- 序盤は、指導主事より基本的な事項の伝達、参加者の要望や質問事項の紹介で方向付けをしています。
- 途中からは、小中を問わず、学校の枠を超えて事例を紹介し合ったり、悩みや質問に参加者同士でアイデアを出し合ったりする他、場合によっては異なるテーマにも触れる等、臨機応変に進行しています。
- 指導主事から適宜他校の取組の共有、紹介のあった事例の価値付け、提案、等々をしています。
- 「質問いいですか?」や「〇〇って何ですか?」等、参加者の熱意や意欲があふれています。
- 参加者は5～10人。テーマを選んだ参加者やリピーターの他、特別支援教育支援員さんもいます。
- 「生徒指導があって」や「子供をお風呂に入れなくちゃ」ということも。もちろん、大歓迎です!
- 事後アンケートでは「～～という視点はなかったので試してみようと思う」など、それぞれの学びの跡がみられます。5回終了時で「満足した」が100%!
- 「用事をつくると仕事を工夫して早く学校を出られますね」と働き方改革の一助にもなっています。



今年度のテーマ(全8回)

- ①指導案から見る授業づくり
- ②主体的・対話的で深い学びの実現に向けて
- ③課題提示の工夫と振り返りの充実
- ④指導と評価の一体化を目指して
(単元のデザインと評価)
- ⑤個別最適な学びと協働的な学び
- ⑥ICTの効果的な活用
- ⑦特別な支援を必要とする児童生徒への対応
- ⑧学級経営、教科経営と特別活動



土浦市教育委員会



2024年も土浦市を
どうぞよろしくをお願いします!

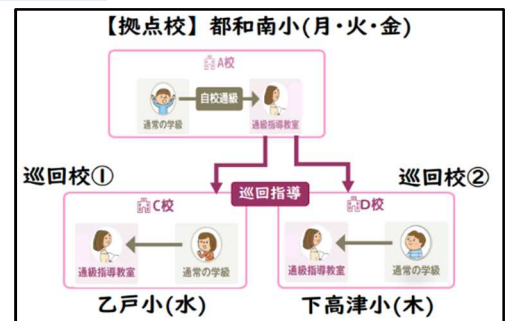
令和5年度「巡回型」通級指導実践研究より

本市では、県特別支援教育課の指定を受け、「巡回型」通級指導体制の整備・構築を行い、通級による指導の充実を図るための実践研究に取り組んでいます。

拠点校である都和南小学校の指導担当者が、下高津小学校と乙戸小学校を巡回し、通級による指導を行っています。授業では、個々の課題を克服するための「自立活動」が行われ、子供たちの学びをサポートしています。また、教員の理解を深めるために、指導担当者による校内研修の支援も行われています。研修の中で、個々の特性に応じた指導方法や支援ツールなどを共有することで、特別支援の輪が学校全体に広がっています。

教員からは、「通級指導の様子を参観して、通常学級でも取り入れられそうな指導のアイデアがたくさんあり参考になった。」という感想が多くあります。児童からは、「今日はスマイル(通級指導教室の名称)があるから楽しみ」という声が聞こえてきたり、落ち着いた生活が送れるようになってきたりと、通級による指導のよさを、学校や家庭においても実感できるようになってきました。

今後、実践研究の成果や課題についてまとめ、県南地区全体の「巡回型」通級指導の充実にご寄与していきたいと考えています。



「巡回型」通級指導



体幹の補正や集中力を高める自立活動